

みずほCustomer Desk Report 2022/09/26号(As of 2022/09/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	142.29	0.9838	139.94	1.1265	0.6644
SYD-NY High	143.45	0.9851	139.94	1.1274	0.6655
SYD-NY Low	141.77	0.9669	138.69	1.0840	0.6512
NY 5:00 PM	143.39	0.9695	138.93	1.0853	0.6531

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,590.41	▲ 486.27	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,867.93	▲ 198.88	日本10年債	-	-
S&P	3,693.23	▲ 64.76	米国2年債	4.2022%	0.0863%
日経平均	-	-	米国5年債	3.9762%	0.0480%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.6856%	▲0.0223%
シカゴ日経先物	26,425.00	▲ 390.00	独10年債	2.0270%	0.0520%
ロンドンFT	7,018.60	▲ 140.92	英10年債	3.8190%	0.3335%
DAX	12,284.19	▲ 247.44	豪10年債	3.9380%	0.1940%
ハンセン指数	17,933.27	▲ 214.68	USDJPY 1M Vol	12.69%	▲0.26%
上海総合	3,088.37	▲ 20.54	USDJPY 3M Vol	12.67%	0.23%
NY金	1,655.60	▲ 25.50	USDJPY 6M Vol	11.95%	0.42%
WTI	78.74	▲ 4.75	USDJPY 1M 25RR	▲1.38%	Yen Call Over
CRB指数	268.47	▲ 9.37	EURJPY 3M Vol	13.79%	0.75%
ドルインデックス	113.19	1.84	EURJPY 6M Vol	13.34%	0.67%

東京	アジア時間のドル円は142.29レベルでオープン。昨日のドル円は日銀の政策決定会合結果や為替介入実施を受けて大きく上下していたものの、本日は東京休日で取引低調な中、小幅なレンジ内で推移。朝方にドル売りが優勢となり、一時142円台を割る水準まで下落。しかし、141.77を底値に切り返すとその後は142円を挟んでもみ合い。午後に入ってから以降は底堅さが意識され、142円前半で堅調に推移した後、142.10レベルで海外時間に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ドル円は142.10レベルでオープン。昨日本邦通貨当局によるドル売り円買い介入が実施されたものの、日米金利差拡大継続予想からドル買い地合いに変化はなく143.26まで買われ142.79レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは財政悪化懸念から急落した。1.1236レベルでオープン。英財務相は個人所得の最高税率の引き下げや法人税引き上げ凍結、そして、大幅な借入増額等を発表した。これを受けインフレ高騰や債務悪化が市場で懸念され1985年に付けた1.15台を下抜け1.1022まで下落した。下値を探りながら1.1057レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	東京の休場でアジア時間は閑散な取引となったものの、ロンドン時間には142.20付近から143.26まで上昇後142.27まで急落したりと、日銀の再介入を警戒した急な動きも見られたが英国の大幅減税の発表を受けポンドドルが大幅に下落する動きにドル円は値を戻し142.79レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続いたが、米9月製造業、サービス業PMI共に予想を上回り、一旦143.28まで上昇する。その後もポンドドル、ユーロドルが軟調に推移する中、ドル円はギリ高で推移し143.45まで戻す。午後に伝わったパウエル議長の発言は目新しさはなく、ドル円は狭いレンジでの推移が続く143.39レベルでクローズした。一方、欧州9月PMIが引き続き弱い結果となったことから上値の重いユーロドルは、ポンドドルが下落する動きにも連れ安となり0.9737まで下落し、0.9752レベルでNYオープン。朝方はしばらくは狭いレンジでの推移が続くが、更にポンドドルが下落する動きにユーロドルも0.9702まで下落する。午後とも軟調な推移が続く、0.9700を抜けると0.9669まで下落し、0.9695レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 木村・大谷

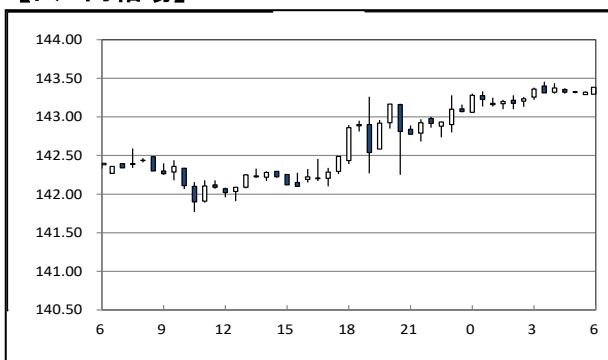
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
9月23日	08:01 英	GfK消費者信頼感	9月	-49	-42

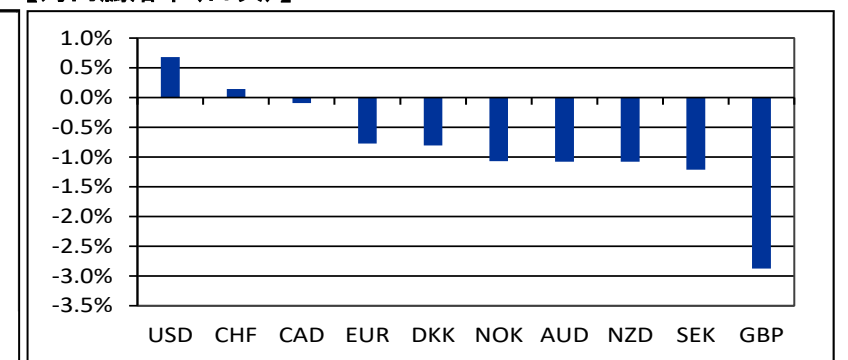
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
9月26日	17:00	独 IFO指数(企業景況感/現況/期待)	9月	87.0/96.0/79.0	88.5/97.5/80.3
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	8月	0.23	0.27
9月27日	01:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-	-
	01:00	英 テンレイロBOE委員 講演	-	-	-
	05:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-146.00	0.9500-0.9800	137.00-141.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日23日のドル円は底堅い展開。22日に日銀決定会合や黒田総裁会見で金融緩和姿勢維持が示され145.90まで付けた後為替介入により一気に140.35まで下落。23日は142円前半でスタートしたドル円は英国の大幅減税の報道を受けたポンドドルの下落を受けじり高となった後、米8月PMIの堅調な数値を受けて143円前半まで一段上昇し、143.39レベルでクローズ。本日のドル円は堅調推移を予想。先週の各国中銀イベントを受けて日銀と他の中銀で金融引き締めへの姿勢の差が改めて浮き彫りとなっており、円を売りやすい地合いとなっている。また、22日に為替介入によって上値を抑えられたドル円だが、日本の単独介入であることから効果の持続性には懐疑的な見方が強いいため、先日の高値(145.90)までは投機筋からも円売りを持ち込まれやすいと考えられる。